

第5次総合振興計画^{*}の7つの基本目標に沿った 令和3年度 注目事業

※千円単位は四捨五入

1 子どもが健やかに育ち、いきいきと輝けるまち

「こども家庭相談センター事業」

妊娠期から子どもの社会的自立まで継続的な支援を実施するため、専門職をはじめとする職員を配置した「子ども家庭総合支援拠点」を設置します

2296万円

2 創造性や豊かな心を育むまち

「戸田市オリンピック・パラリンピック推進事業」

東京オリンピック・パラリンピックの気運を高めるため、聖火リレーや関連イベントを実施し、ホストタウンとしてオーストラリアカヌーチームを受け入れます

3503万円

3 共に生き、支えあい、安心して暮らせるまち

「新型コロナウイルス感染症診療・検査体制の強化」

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、市民の安心と生命を守るため、市民医療センターの診療・検査体制を強化します

956万円

4 安全な暮らしを守るまち

「見守り防犯カメラ整備事業」

犯罪の未然防止や事案発生時の早期解決を図るため、「見守り防犯カメラ」を全小学校区で稼働し、防犯体制を強化します

8675万円

5 快適に過ごせる市内基盤が整備されたまち

「戸田駅西口駅前交通広場交流エリア整備事業」

戸田駅西口の駅前交通広場や多目的スペースを一体的に整備します

5778万円

6 都市環境と自然環境が調和されたまち

「公園リニューアル計画業務」

令和2年度に策定した公園リニューアル計画に基づき、モデル公園の設計や公園のニーズなどの掘り起こしを行うための社会実験を行います

972万円

7 活力にあふれ人が集い心ふれあうまち

「戸田市共創のまちづくり補助金事業」

市民活動団体と市の協働により地域課題の解決を目指すため、新しい補助金を創設します

414万円

※総合振興計画…まちづくりの指針として、市民と行政が共に目指す将来都市像を描き、その実現に向けた明確な目標や方策を定めた計画で、本市では令和3年4月1日に第5次総合振興計画がスタートした

3月定例会は2月22日から3月26日までの33日間の会期で開かれ、市長提出議案43件と、委員会提出議案2件が提出され、いずれも可決・同意しました。また、6議案に対し延べ11人が質疑し、議案4件について延べ8人が討論を行いました。

4日間にわたる一般質問では、17人の議員が活発な論戦を展開しました。

令和3年
3月
定例会

2月22日～
3月26日

戸田市第5次総合振興計画
始まる！
令和3年度予算決まる

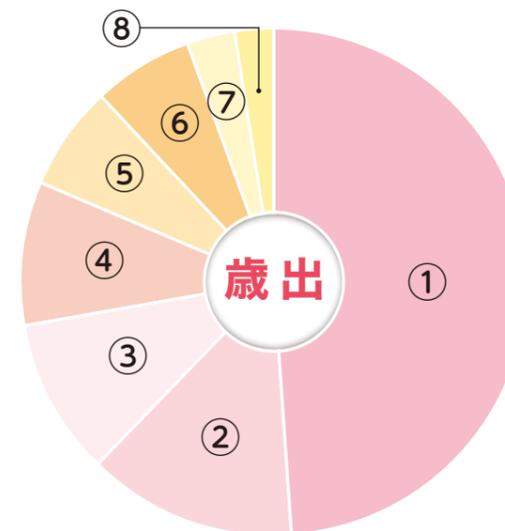


歳入合計 544億2600万円

①市税	271億3686万円
②繰入金	32億7480万円
③諸収入	20億792万円
④繰越金	7億5000万円
⑤その他自主財源	13億5953万円
⑥国庫支出金	105億2187万円
⑦県支出金	34億4674万円
⑧地方消費税交付金	32億1500万円
⑨市債	19億2240万円
⑩その他依存財源	7億9088万円

※千円単位は四捨五入

歳入では、市税(市民税・固定資産税等)が全体の49.9%。その他、繰入金や諸収入を含めると、自主財源は全体の63.5%。国・県からの交付金などの依存財源は、全体の36.5%となっています。



歳出合計 544億2600万円

①民生費	266億1433万円
②教育費	72億9934万円
③総務費	54億635万円
④土木費	49億9248万円
⑤衛生費	36億8460万円
⑥公債費	35億1918万円
⑦消防費	15億5573万円
⑧その他	13億5399万円

※千円単位は四捨五入

歳出は、全体の48.9%を占める民生費が喜沢南保育園改修事業の進捗などにより前年度比で約3億6千万円の減少となったほか、教育費が戸田東小・中学校の改築工事の進捗などにより前年度比約27億1千万円の減少、総務費が戸田市文化会館の改修完了などにより前年度比で約20億8千万円の減少となっています。

令和3年度予算のあらまし

		前年度比
一般会計	544億2600万円	9.0% ↓
特別会計・企業会計 [*]	334億4066万円	9.3% ↑
令和3年度予算総額	878億6666万円	2.8% ↓

※特別会計・企業会計…本市には、一般会計の他、国民健康保険特別会計など、特定の事業を目的に設けられている10の特別会計と、独立採算により事業を展開している水道・下水道の2つの企業会計が設けられている